

平成 30 年度

学生によるオレンジリボン運動

大阪バイオメディカル専門学校 実施報告書



実施主体 大阪バイオメディカル専門学校 医療福祉学科 3 年

実施内容 平成 30 年 11 月 23 日の学園祭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

授業において、オレンジリボン活動の起源となる児童虐待事案について知り、その背景となる社会問題についての考察を、グループワークを通して行った。また、現代社会における地域と家族の状況と課題について考察するとともに、自らの生育や家庭環境を含めて考え、発表する活動を行った。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

学生の発案によるオレンジリボン運動と児童虐待防止の啓発活動。

- 啓発冊子の作成と文化祭来場者への配布
- 啓発のためのコースター作成と学園祭企画の喫茶店での配布
- 啓発ポスター作成・学内数か所への貼付

③オレンジリボン運動を終えて…

- 児童虐待をなくしていきたいという意思を運動として伝える方法を検討し実践する中で、その背景にある貧困や虐待の連鎖などを学び、社会的問題の解決の困難さを感じた。また、その上で、自らが行動することで各々ができることを考察できた。
- 児童虐待防止という重大なテーマをわかりやすく、また、馴染みやすく伝えることを工夫することで、問題意識を共有し、人とのつながりによって問題解決を図るという考えを持つことができた。
- 本校で伝統的に行われる児童虐待防止の継承し、自らの卒業後の社会参加の方法を検討することができた。



【大阪バイオメディカル専門学校】 <https://www.obm.ac.jp/>